

事例で見るNatechリスクマネジメントと カスケード効果

Natech (Natural hazard triggering technological accidents) は自然災害に起因する技術事故で、カスケード災害の一つである。産業と技術発達、都市化、世界の複雑化、無分別な自然環境の利用、グローバル気候変化、地球温暖化の加速化などはカスケード災害の頻度を一段と増加させる。Natech災害は頻度こそ少ないものの、一度発生すると技術に密接する我々の社会に広範かつ長期的な被害をもたらす。Natechのカスケードに対応するため人的・物的資源、産業施設や災害に関連するあらゆる知識を活用し、様々な規模のNatech災害に備える必要がある。UN, OECDなど国際機関はNatechリスク軽減について啓発を進めている。

Natechの規模は様々で、どのような被害が発生するかも事前に予測することは難しい。小規模なNatech災害事例の知見を集積し、大規模なNatech災害に備えることが大事だ。本セミナーではNatechそのもの、国内外におけるNatechリスク軽減の代表的な取り組み、医療的観点からのNatechリスクについて議論していきたい。



東北大学災害科学国際研究所
災害医学研究部門
災害医療情報学分野助教

朴 慧晶 (パクヘジョン) 先生

2014年韓国で災害管理システム、火災安全に基づく安全工学で修士号取得。
2020年京都大学で都市計画工学専攻で博士号取得。2021年NDLS講師資格取得。
研究分野は主に地域災害リスクマネジメント、災害リスクガバナンスである。

2023年12月14日 (木)
16:30~17:30

WEB 開催
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所
「災害と健康」プロジェクトユニット
<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>

